

### 第3節 農業振興課

#### 〔総括概要〕

本市は、農家戸数、耕地面積ともに県内有数の都市で、水稻や二条大麦を中心にいちご・トマトなどの施設園芸、ぶどう・なしなどの果樹、畜産などの経営が盛んである。特に二条大麦といちごは、県内のみならず全国でもトップクラスの作付面積と生産量を誇っている。また、本市の農業には、首都圏に位置するという地理的優位性から、生産者と消費者をつなぎ安心安全で確かな農産物を届けることが期待されているほか、農業を営みながら多様なライフスタイルを実現する「半農半X」への関心が高まりつつある。加えて、農業は、食料やその他の農産物を供給する機能以外にも、自然環境の保全、土壌浸食防止、気候変動の緩和、特徴的な景観及び伝統文化の形成など、多面的かつ公益的な機能を果たしている。

しかし、今日の農業は、農業従事者の減少と高齢化による人手不足、荒廃農地の増加、外国産農産物との競合、気候変動による生産への影響など様々な問題を抱えている。加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大に端を発した経済活動の停滞、紛争や国際情勢の緊張がもたらした物価の高騰は、農業経営にも大きな打撃を与え、離農者の増加、ひいては農業・農村の機能の低下が懸念される。

こうした状況下において、本市では、農業生産と農村の振興を軸とした各種施策を実施することにより、農業経営の安定と就農意欲の喚起に力を注いだほか、一般財団法人栃木市農業公社及び栃木市農業再生協議会と連携し、担い手への農地集積・集約と水田を活用した戦略作物の本作化を支援した。

#### 農政係

##### 1 経営所得安定対策と米政策

農業経営の安定や食料自給率の向上を図るとともに、農業の多面的機能を将来にわたって適切に発揮するため、国の経営所得安定対策とその関連事業を活用し、需要に応じた作物の生産等を推進した。

##### (1) 水田活用の直接支払交付金

食料自給力の向上に資する麦・大豆・飼料作物等戦略作物の本作化や生産性向上の取組等を支援した。

・戦略作物等交付対象面積

(単位：ha)

|       |      |         |
|-------|------|---------|
| 麦     |      | 66.73   |
| 大豆    |      | 17.12   |
| そば    |      | 50.24   |
| 飼料作物  |      | 105.72  |
| 新規需要米 | 飼料用米 | 895.52  |
|       | 米粉用米 | 1156.53 |

|      |         |       |
|------|---------|-------|
|      | W C S 稻 | 47.94 |
| 加工用米 |         | 14.17 |

・産地交付金（市設定枠）交付対象面積（単位：ha）

|             |         |
|-------------|---------|
| 飼料用米等の生産性向上 | 2002.70 |
| 二毛作         | 1612.62 |
| 麦の生産性向上     | 1742.03 |
| 大豆の生産性向上    | 374.69  |
| 加工用米の生産性向上  | 109.91  |
| 野菜の生産振興     | 33.04   |

(2) コメ新市場開拓等促進事業

需要拡大が期待される加工用米、米粉用米の低コスト生産の取組を支援した。

・コメ新市場開拓等促進事業交付対象面積（単位：ha）

|      |       |
|------|-------|
| 加工用米 | 41.56 |
| 米粉用米 | 3.91  |

(3) 畑作物産地形成促進事業

水田における畑作物の導入・定着に向けた取組を支援した。

・畑作物産地形成促進事業交付対象面積（単位：ha）

|           |         |
|-----------|---------|
| 麦         | 1036.23 |
| 大豆        | 57.59   |
| 子実用とうもろこし | 2.35    |
| 高収益作物（野菜） | 10.35   |

(4) 畑地化促進事業

水田を畑地化して畑作物の本作化に取り組む農業者を支援した。

・畑地化促進事業交付対象面積（単位：ha）

|      |       |
|------|-------|
| 飼料作物 | 14.07 |
|------|-------|

(5) 令和6年度水稻生産実施計画及び営農計画書等の受付事務

経営所得安定対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会による個別相談及び事業加入申請受付を行った。

・期間 2月13日～2月22日

## 2 農業制度資金関係

(1) 農業近代化資金利子補給金

農業経営の近代化・高度化に資する資金の円滑な融通とその返済に掛かる負担の軽減を図るため、融資を実行した金融機関に対して利子補給金を交付した。

・利子補給金額（一般農業者）

| 上 期   |       | 下 期   |       | 利子補給金合計（円） |
|-------|-------|-------|-------|------------|
| 件数（件） | 利子補給金 | 件数（件） | 利子補給金 |            |

|    |         |    |         |         |
|----|---------|----|---------|---------|
|    | (円)     |    | (円)     |         |
| 37 | 119,508 | 38 | 184,622 | 304,130 |

・特別利子（認定農業者上乗せ分）

| 上 期   |              | 下 期   |              | 利子補給金合計（円） |
|-------|--------------|-------|--------------|------------|
| 件数（件） | 利子補給金<br>（円） | 件数（件） | 利子補給金<br>（円） |            |
| 2     | 2,982        | 1     | 5,167        | 8,149      |

・新規融資申請状況

| 申請件数(件) | 申請金額（千円） |
|---------|----------|
| 7       | 45,360   |

## (2) 農業経営基盤強化資金利子助成金

認定農業者等が経営改善を図るために借り入れる農業経営基盤強化資金等の金利負担を軽減するため、利子助成を実施した。

・利子助成金額（平成23年度分まで利子助成。平成24年度以降利子助成該当者なし）

| 件数（件） | 利子助成金額（円） |
|-------|-----------|
| 2     | 10,997    |

## 3 農業経営基盤強化促進事業

経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営体が農業生産の相当部分を担うような農業構造の確立を目指して、経営改善に取り組む農業者の計画を認定するとともに、農用地の利用集積、生産性の向上など、農業者等による経営改善に向けた計画的な取組を支援した。

### (1) 経営改善に向けた取組の支援（認定農業者・認定新規就農者の認定）

他産業並の労働時間と年間所得の実現を目指して、農業者や農業法人、これから農業経営を営もうとする者の経営改善に向けた計画の策定を支援し、その認定を行った。

| 区 分         | 経営体数 | 備 考       |
|-------------|------|-----------|
| 農業経営改善計画認定者 | 64   | 内広域認定3経営体 |
| 新規認定        | 18   | 内広域認定3経営体 |
| 再認定         | 44   | 内広域認定0経営体 |
| 変更認定        | 2    |           |
| 青年等就農計画認定者  | 8    |           |

### (2) 農用地の利用集積

#### ア 農地流動化関連事業

認定農業者をはじめとする担い手及び今後育成すべき農業者に農地を集積し規模拡大を図るため、農業委員会等関係機関との連携のもと農地に関するニーズの掘り起こし活動を実施し、農地の流動化（農地の貸借・売買）を推進した。

・農用地利用集積計画策定状況

| 番号 | 公告年月日 | 告示番号 | 利用権等の種類 | 面積(ha) |
|----|-------|------|---------|--------|
|----|-------|------|---------|--------|

|     |        |            |               |        |
|-----|--------|------------|---------------|--------|
| 1   | 4月27日  | 栃木市告示第134号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 50.76  |
| 2   | 5月30日  | 栃木市告示第162号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 37.36  |
| 3   | 6月29日  | 栃木市告示第190号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 23.90  |
| 4   | 7月28日  | 栃木市告示第220号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 15.40  |
| 5   | 8月30日  | 栃木市告示第249号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 17.17  |
| 6   | 9月28日  | 栃木市告示第279号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 16.07  |
| 7   | 10月30日 | 栃木市告示第310号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 31.48  |
| 8   | 11月29日 | 栃木市告示第333号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 66.76  |
| 9   | 12月26日 | 栃木市告示第362号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 93.60  |
| 10  | 1月30日  | 栃木市告示第 23号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 67.50  |
| 11  | 2月28日  | 栃木市告示第 42号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 63.18  |
| 12  | 3月27日  | 栃木市告示第 81号 | 利用権の設定及び所有権移転 | 72.56  |
| 合 計 |        |            |               | 555.74 |

#### 4 新規就農支援事業

##### (1) 就農相談

農協、農業公社等農業関係機関・団体と連携し、就農準備、就農、定着、経営発展の各段階における相談を受け、補助金や制度資金の活用、農地の斡旋など必要な支援を行った。

##### (2) 就農イベントへの出展

次代を担う新規就農者の確保を目的としたイベントに出展した。

| 名 称      | 日 時          | 場 所           | 概 況                                            |
|----------|--------------|---------------|------------------------------------------------|
| 新・農業人フェア | 1月20日<br>(土) | 東京国際<br>フォーラム | ・参加203団体（内オンライン4）<br>・来場者数1,310人<br>内本市への相談者6人 |

##### (3) 新たに就農した経営体への支援

就農直後の青年就農者に対し農業経営に係る経費の一部を支援することにより、就農意欲の喚起と就農後の定着を図った。

| 支 援 区 分                                      | 対 象 者 (人)    | 補助金額 (円)   |
|----------------------------------------------|--------------|------------|
| 新規就農サポート事業費補助金 (市単)                          | 1            | 327,900    |
| 青年就農補助金 (国庫)<br>(国の事業名: 農業次世代人材投資事業 (経営開始型)) | 9<br>(内夫婦3組) | 10,050,000 |
| 新規就農者経営発展支援事業費補助金 (国庫)<br>(国の事業名: 経営発展支援事業)  | 6<br>(内夫婦2組) | 20,668,000 |
| 新規就農者経営開始支援事業費補助金 (国庫)<br>(国の事業名: 経営開始資金)    | 9<br>(内夫婦2組) | 8,625,000  |

|                                           |              |            |
|-------------------------------------------|--------------|------------|
| 新規就農者初期投資促進事業費補助金（国庫）<br>（国の事業名：初期投資促進事業） | 5<br>（内夫婦2組） | 12,168,000 |
|-------------------------------------------|--------------|------------|

## 5 農村女性活動活性化事業

市内の農村女性組織間の連携や情報交換を密にしつつ、農業経営における男女共同参画意識を高め、豊かで活力ある地域社会の実現に資することを目指して、女性農業団体の活動を支援した。

- ・栃木市農村生活研究グループ協議会

### 【視察研修会】

開催日：8月30日（水）

視察先：栃木県農業試験場/若竹の杜 若山農場

参加者：23人

- ・栃木市農村女性会議

### 【市職員出前講座】

開催日：11月29日（水）

会場：栃木市役所 本庁舎3階正庁

内容：①一人ひとりが自分らしく～今、私自身が変わるとき～（人権・男女共同参画課）②高齢者向け筋力運動「あったかもちぎ体操」（地域包括ケア推進課）

参加者数：13人

### 【視察研修会】

開催日：3月13日（水）

視察先：道の駅もてぎ、ふみの森もてぎ図書館、焼森山ミツマタ群生地

参加者数：17人

## 6 栃木県南地方卸売市場関係

### (1) 概要

栃木県南地方卸売市場は、平成29年10月1日に民営化し、現在、荒井商事株式会社が『「安心・安全・新鮮・元気」を軸に生産者と消費者をつなぐ地域密着の「食の拠点」づくり』をテーマに掲げて開設・運営している。

- ・開設者（民営事業者）

商 号：荒井商事株式会社

所 在 地：神奈川県平塚市紅谷町17番2号

開設期間：令和4年10月1日～令和9年9月30日の5年間

- ・運営（管理業務）の状況

| 区 分  | 金額・数量等       | 備 考                          |
|------|--------------|------------------------------|
| 収入   | 126,941,768円 | 民営第6期<br>令和4年10月1日～令和5年9月30日 |
| 支出   | 99,581,631円  |                              |
| 卸売業者 | 3社           | 令和5年9月30日現在                  |
| 仲卸業者 | 16社          |                              |

|       |       |  |
|-------|-------|--|
| 関連事業者 | 13 社  |  |
| 買受人   | 272 社 |  |
| 買出人   | 507社  |  |

(2) 財産管理

市場の土地・建物は、小山市、栃木市、下野市、壬生町、野木町の共有財産であり、管理に関する事務は小山市へ委託している。その事務に要する費用は構成市町が負担率に応じて負担している。

- ・事務委託費：令和5年度における本市の負担分 5,488,000 円
- ・構成市町の共有財産

| 区 分  | 数 量 等           | 備 考                     |
|------|-----------------|-------------------------|
| 土地   | 61筆 計111327.80㎡ | 内栃木県中央食販(株)へ貸付12547.16㎡ |
| 建物   | 15棟 延23506.68㎡  |                         |
| 設備   | 冷蔵機械設備 等 10件    |                         |
| 付属施設 | 囲障、受水槽 等 10件    |                         |

- ・構成市町負担率（共有財産の持分）

|     |        |
|-----|--------|
| 小山市 | 66.60% |
| 栃木市 | 29.09% |
| 下野市 | 0.95%  |
| 壬生町 | 1.82%  |
| 野木町 | 1.54%  |

(3) 栃木県南地方卸売市場管理評価委員会

開設者が行う管理運営状況について、外部専門家を交えて評価、指導等を行った。

開催日時：2月13日（火） 午前10時00分

評価対象期間：令和4年10月1日～令和5年9月30日

7 ふるさと農業体験学習事業

地域農業への理解促進や就農意欲の喚起、及び本市農業の担い手確保を目的とした「ふるさと農業体験学習」については、栃木市農業士会及び岩舟町ぶどう生産出荷組合との共催により開催を予定していたが、台風のため中止となった。

開催日：9月9日（土）※台風のため中止

会場：いわふねフルーツパーク、岩舟農村環境改善センター（こなら館）

内容：ぶどう（巨峰）収穫体験会、新規就農相談会

申込者数：81人（うち新規就農相談会申込者18人）

8 農業者団体等育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業者団体等の指導、育成を行うとともに、実施事業に対する支援を行った。

| 補助金等名称 | 相手方 | 補助額<br>(円) | 補助対象事業の内容 |
|--------|-----|------------|-----------|
|--------|-----|------------|-----------|

|                    |                      |        |                              |
|--------------------|----------------------|--------|------------------------------|
| 栃木市認定農業者<br>協議会補助金 | 栃木市認定農業者<br>協議会      | 27,000 | 講演会（インボイス制度）<br>学習発表会（栃農高生徒） |
| 農業改良団体育成助長<br>補助金  | 栃木市農村生活<br>研究グループ協議会 | 40,800 | スキルアップ講座（料理、手<br>芸、寄せ植え）     |

## 9 人・農地プラン推進事業（地域計画策定事業）

集落・地域における話し合いを通じ、地域が抱える人と農地の問題の解決を図る「人・農地プラン」実現の取組を支援した。

### (1) 人・農地プラン検討会

地域農業の実情をプランに反映するため、農業者、農業関係団体、及び公募委員等で構成する人・農地プラン検討会を開催した。

開催日：3月18日（月）

出席委員：13名

内容：人・農地プランの見直し（位置付けられた中心経営体の加除修正）、地域農業が抱える課題等についてのフリートーク等

### (2) 農地中間管理機構を活用した農地集積の促進

農地流動化の取組に関連し、地域の農地をまとめて農地中間管理機構に貸し付けて担い手への農地集積・集約化を図る場合、機構集積協力金の交付対象となるが、令和5年度は申請まで至らなかった。

・機構集積協力金の活用状況

| 区 分         |         | 対象者（人） | 対象面積（ha） | 補助金額（円） |
|-------------|---------|--------|----------|---------|
| 機構集積<br>協力金 | 経営転換協力金 | -      | -        | -       |
|             | 地域集積協力金 | -      | -        | -       |
|             | 集約化奨励金  | -      | -        | -       |

### (3) 地域計画策定に向けた取組

令和4年度の農業経営基盤強化促進法改正により、人・農地プランが法制化され、令和6年度までに「地域計画」とその付図である「目標地図」を策定することとされた。集落においては、農業委員・農地利用最適化推進委員会を中心とした目標地図素案の検討と合わせて、市主催による「地域の田畑を今後どうするか考える座談会」が開催され、10年後の地域農業の姿についての話し合いが行われた。

| 区 分                     | 主 催                 | 時 期    |
|-------------------------|---------------------|--------|
| 目標地図素案の検討               | 農業委員<br>農地利用最適化推進委員 | 8月～12月 |
| 地域の田畑を今後どうするか<br>考える座談会 | 市<br>農業委員会事務局       | 1月～2月  |

## 10 農業振興地域整備促進事業

### (1) 農業振興地域整備計画の一般管理（農振除外）

農地に係る社会的・経済的情勢の変化を考慮しつつ、農林業と都市計画の健全な調

和の観点から限られた土地資源を有効に配分するため、農業振興地域整備計画の変更（いわゆる農振除外）の申出を受け付け、一般管理を行った。

(2) 農業振興地域内の農用地等の面積（令和5年12月31日時点）（単位：ha）

| 区 分            |             | 総面積    | 農 用 地 |       |     |        |            |        | 混牧<br>林地 | 農業用<br>施 設<br>用 地 | 混牧林地<br>以 外 の<br>山林原野 | その他   |
|----------------|-------------|--------|-------|-------|-----|--------|------------|--------|----------|-------------------|-----------------------|-------|
|                |             |        | 農 地   |       |     |        | 採 草<br>放牧地 | 計      |          |                   |                       |       |
|                |             |        | 田     | 畑     | 樹園地 | 計      |            |        |          |                   |                       |       |
| 現<br><br><br>況 | 農 業<br>振興地域 | 16,942 | 7,975 | 1,819 | 217 | 10,011 | 2          | 10,013 | 2        | 53                | 1,468                 | 5,406 |
|                | 農用地<br>区 域  | 7,332  | 6,370 | 722   | 154 | 7,246  | -          | 7,246  | -        | 51                | 6                     | 29    |
|                | 農 振<br>白地地域 | 9,610  | 1,605 | 1,097 | 63  | 2,765  | 2          | 2,767  | 2        | 2                 | 1,462                 | 5,377 |

(3) 農振除外申出受理件数（単位：件）

| 区 分   | 件 数 |
|-------|-----|
| 重要変更  | 16  |
| 軽微な変更 | 5   |

#### 11 農業委員会との調整

農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定等事務、農業振興地域の整備に関する法律に基づく農振除外事務及び農地法に基づく農地転用事務を適正かつ円滑に遂行するため、農業委員会との連携・調整、及び意見照会を行った。

12 諸証明の発行状況（単位：件）

| 件 名                     | 件 数 |
|-------------------------|-----|
| 農振農用地区域等の証明             | 25  |
| 譲渡所得の特別控除に係る土地等についての証明等 | -   |
| 登録免許税の税率の軽減措置に係る土地の取得証明 | 9   |
| 合 計                     | 34  |

#### 13 一般財団法人栃木市農業公社に関する事業

栃木市全域をカバーする農業公社の自主的かつ安定的な運営を支援するため、運営費を補助した。

・補助金額：17,774,000円

#### 14 栃木市農業ビジョンの進捗管理

平成29年から令和8年までの10年間の本市農業のあるべき姿や方向性を描いた「栃木市農業ビジョン」に掲げた7つのプロジェクトと、その行動計画である「栃木市農業振興アクションプラン」の進捗状況について、管理・点検を行った。

・栃木市農業振興推進会議

開催回数：1回（1月23日（火））

内容：栃木市農業ビジョンの進捗状況、地域計画の策定状況、意見交換（自然環境に配慮した持続可能な農業について、10年後を見据えた地域農業のありかたについて）

## 生産振興係

### 1 農業振興事業関係

#### (1) 農業生産振興事業

農業生産の規模拡大や経営の安定化を図るため、機械施設の導入などに対し支援を行った。

| 区 分                            | 事業内容 | 取組件数 | 補助額（円）     |
|--------------------------------|------|------|------------|
| 農地利用効率化等支援交付金（国庫）              | 経費補助 | 2経営体 | 3,669,000  |
| 土地利用型園芸産地展開加速化事業（県補助）          | 経費補助 | 2経営体 | 6,014,000  |
| 種子生産体制強化整備事業（県補助）              | 経費補助 | 1経営体 | 3,500,000  |
| 産地生産基盤パワーアップ事業（麦・大豆機械導入対策）（国庫） | 経費補助 | 2経営体 | 12,890,000 |
| 産地生産基盤パワーアップ事業（収益性向上タイプ）（国庫）   | 経費補助 | 5経営体 | 7,294,000  |

#### 【令和4年度繰越】

| 区 分                            | 事業内容 | 取組件数 | 補助額（円）      |
|--------------------------------|------|------|-------------|
| 担い手確保・経営強化支援事業（国庫）             | 経費補助 | 2経営体 | 1,112,000   |
| 産地生産基盤パワーアップ事業（麦・大豆機械導入対策）（国庫） | 経費補助 | 1経営体 | 33,635,000  |
| 産地生産基盤パワーアップ事業（収益性向上タイプ）（国庫）   | 経費補助 | 1経営体 | 335,000,000 |

#### (2) 稲等病虫害防除事業

病虫害防除を広域的かつ効率的に行うとともに、農業者の作業負担の軽減を図るため、ラジコンヘリコプター等を使用した共同防除の取組を支援した。

（予算内での定額補助）

補助金額：14,285,500円

面 積：3,002ha

対 象 者：1,569人

#### (3) 優良種苗購入事業

いちごの親苗由来の病害を抑制し生産量と品質の維持向上を図るとともに、推奨品種への転換を促進するため、優良種苗調達の取組を支援した。

（予算内での定額補助）

事業主体：下野農業協同組合、上都賀農業協同組合

補助金額：893,214円（とちおとめ・スカイベリー5円/本、とちあいか9円/本）

事業内容：優良種苗の供給114,366本

(4) 農業用廃ビニール処理事業

農業用廃ビニールの分別回収と適正処分を促進するため、廃棄に係る費用の一部を支援し実施者の負担軽減を図った。

（予算内での定額補助）

事業主体：市内6地域の廃プラスチック処理対策団体

事業内容：農業用廃ビニール分別回収、適正処理

（塩化ビニール・ポリエチレン類過去3年分の合計処理量を基に補助金を算出）

（※R2～R4の合計 936.4t）

補助金額：1,550,000円

(5) 環境保全型農業直接支払交付金

地球温暖化防止や生物多様性の保全等に寄与する営農活動を行う農業者グループ等に対し、経費の一部を支援した。

| 活動組織名         | 実施地区                                | 対象農家数（戸） | 事業内容                                  | 交付額（円）    |
|---------------|-------------------------------------|----------|---------------------------------------|-----------|
| 栃木市環境保全型農業研究会 | 大塚町、藤岡町（藤岡、大前、赤麻、新波）大平町（西野田、西水代、榎本） | 7        | 有機農業<br>1,597 a<br>カバークロップ<br>1,222 a | 2,649,600 |

## 2 畜産振興事業関係

(1) 畜産団体育成補助金

本市畜産業の振興を目的として、畜産農業者が連携して行う実践活動及び自衛的に実施する家畜防疫事業に要する費用の一部を支援した。

支出先：栃木市畜産協議会

補助額：200,000円

(2) 繁殖牛導入促進支援補助金

子牛の繁殖及び繁殖・肥育の一貫経営に取り組む農業者の経営の安定を図るため、繁殖牛導入経費の一部を補助した。

取組件数：2経営体

補助額：78,000円（1頭あたり導入経費の1割（上限10万円））

(3) 家畜伝染病防疫対策

2月に市内農場にて豚熱が発生し、栃木県県南家畜保健衛生所及び関係機関と連携して被害拡大防止の措置を講じた。

また、豚熱及び高病原性鳥インフルエンザの水際対策・緊急防疫対策として、市内の養豚・養鶏農家等に対して家畜防疫用消耗品の配付を行った。

- ・家畜防疫用消耗品（消石灰、消毒液）の配付

## 農村振興係

### 1 農業振興事業関係

#### (1) 農産物PR事業

県内外において開催されたイベント等において、市内農畜産物をPRし、販売促進を図った。

また、県主催「いちご王国プロモーション事業」の協賛として、本庁舎2階吹抜けに1月中旬から約1か月間、のぼり旗やポスター等によるディスプレイを実施し、県産いちごのPRを図った。

- ・農業振興課職員参加のPRイベント

| 名 称        | 日 時                 | 場 所               | 内 容                                    |
|------------|---------------------|-------------------|----------------------------------------|
| 佐野まるっとマルシェ | 5月4日（木）～<br>5月6日（土） | 佐野プレミアム<br>アウトレット | ・いちご、玉ねぎ、トマト等販売                        |
| 日産フェア      | 7月30日（日）            | 日産横浜工場            | ・ぶどう、ワイン、ぶどうジュース等販売と試食用ぶどう等の配布         |
| 栃木市産いちご直売会 | 3月25日（月）            | 日本橋プラザビル南広場       | ・いちご、いちごジャム、いちごジュース、いちご蕎麦の販売と試食用いちごの配布 |

### 2 地域農産物活用補助事業関係

#### (1) 栃木市直売所連絡協議会関係

直売所相互の連携体制を構築し、地産地消を推進するため、共通のPR用チラシ及びポスターの作製・配布による支援を実施した。

事業主体：栃木市直売所連絡協議会

事業内容：直売所が実施する「地産地消」や「安全・安心PR」に関する事業の経費に対し補助する。

対象直売所数：12か所

補助金額：237,000円

#### (2) 直売所出荷農家表彰制度

農業に生きがいを持ち、楽しく頑張る農家を後押しすることを目的として、各直売所より推薦のあった対象者に賞状と記念品を贈呈した。

- ・表彰対象者 7名

### 3 都市農村交流事業

地域資源を生かした農業体験事業を通じ、都市農村交流の活性化及び地域農業振興の

促進を図る取組を支援した。

・各地区における交流事業実施状況

| 地 区   | 開 催 日                           | 名 称            | 参加者(人) |
|-------|---------------------------------|----------------|--------|
| 吹上地区  | 6月17日(土)、9月30日(土)、<br>12月23日(土) | 吹上米づくり体験教室     | 56     |
| 寺尾地区  | 5月28日(日)、10月1日(日)               | 寺尾米づくり体験教室2023 | 97     |
| 下高島地区 | 8月 6日(日)                        | 茶豆オーナー制度引渡し    | 160    |
| 北武井地区 | 10月15日(日)                       | 黒大豆オーナー制度引渡し   | 488    |
| 新地区   | 10月15日(日)                       | 黒大豆オーナー制度引渡し   | 259    |

#### 4 農村振興総合センター管理運営事業

地域農村のコミュニティづくりのため、農業者に限らず多目的利用可能な集会施設として、農振センターの管理・運営を行い、主に農業関係団体の会議、和太鼓グループの市民講座会場・練習、地域の味噌づくりでの利用があった。

・施設の利用状況

| 利 用 団 体 | 利用日数(日) | 利用人数(人) |
|---------|---------|---------|
| 農業団体    | 1       | 30      |
| 土地改良区関係 | 12      | 210     |
| 味噌づくり   | 28      | 238     |
| 和太鼓等    | 50      | 1,038   |
| 合 計     | 91      | 1,516   |

#### 5 農産物加工施設の管理運営事業

加工による地域農産物の消費拡大、付加価値向上、及び地域農業に対する理解促進を図るため、農産物加工施設の管理・運営を行った。

| 施 設 名       | 利用日数<br>(日) | 利用人数<br>(人) | 主な利用目的                                    |
|-------------|-------------|-------------|-------------------------------------------|
| 大平西地区農産加工所  | 106         | 344         | ぶどうジャム・ジュースづくり<br>味噌づくり                   |
| 大平農村婦人の家    | 9           | 175         | 地元団体の会議<br>※設備劣化のため調理室使用中止                |
| 藤岡農産加工センター  | 41          | 257         | 味噌づくり                                     |
| 西方農産加工所     | 309         | 3,090       | いちごジャム・ジュース、弁当、<br>惣菜、漬物、梅干し等の製造・加工、味噌づくり |
| 真名子農産加工所    | 10          | 50          |                                           |
| 西方農村婦人の家    | 59          | 295         |                                           |
| 岩舟町ふるさとセンター | 81          | 659         | 味噌づくり、地元団体の会議                             |

#### 6 都賀<sup>おいで</sup>生出宿里の駅施設管理事業

直売所やカタクリの里等、市の主要な観光地を訪れる観光客の利便性向上を図るため設置された、生出宿公衆トイレ施設の維持管理及び、修繕を行った。

## 7 とちぎアグリフェスタ事業

とちぎアグリフェスタは、農産物等の販売を通し、生産者と消費者の相互理解を深めるとともに、地域農業の振興と地域農産物のPR並びに食と農に対する理解と正しい知識を深めることを目的に、下野農業協同組合との共催により、とちぎアグリフェスタ2023を5年ぶりに開催した。

開催日時：12月2日（土）午前9時30分～午後3時

会 場：栃木市総合運動公園中心広場

来場者数：約20,000人

実施内容：地域農産物の販売と屋台の出店、農産物無料配布、お買上げ抽選会等

## 8 道の駅管理運営事業

道の駅みかも及び道の駅にしかたは、ともに本市の農畜産物や地域特産品の紹介、販売、及び地域情報の発信を通して、都市と農村の交流を促進することを目的として設置されている。両施設とも、指定管理者制度の導入により、民間の活力とノウハウを生かして農産物の消費拡大と高付加価値化に取り組んでいるほか、各種イベントを開催して農産物や特産品等のPRを行った。

### (1) 道の駅みかも

#### ・売上等実績

| 施設名               | 客 数（人）  | 売上額（円）      |
|-------------------|---------|-------------|
| 農産物直売室            | 266,706 | 277,401,081 |
| 物産館               | 358,577 | 215,027,289 |
| 農産物加工販売室「ジェラート工房」 | 38,627  | 18,870,045  |
| 地域食材供給室「レストランみかも」 | 55,716  | 47,688,440  |
| 合 計               | 719,626 | 558,986,855 |

#### ・主なイベント

| イベント名    | 開 催 日     |
|----------|-----------|
| みかも山ウォーク | 11月12日（日） |

### (2) 道の駅にしかた

#### ・売上等実績

| 施設名             | 客 数（人）  | 売上額（円）      |
|-----------------|---------|-------------|
| 農産物直売所「ふれあいの郷」  | 196,341 | 279,540,797 |
| 農村レストラン「ふるさと一番」 | 142,868 | 96,853,380  |
| 交流物産館「さくら」      | 40,932  | 55,430,505  |
| 合 計             | 380,141 | 431,824,682 |

#### ・主なイベント

| イベント名 | 開 催 日 |
|-------|-------|
|-------|-------|

|       |              |
|-------|--------------|
| 夏の感謝祭 | 7 月 23 日(日)  |
| 秋の感謝祭 | 11 月 26 日(日) |

## 9 むらづくり施設管理運営事業

いわふねフルーツパークセンターは、農産物の加工及び販売を通じた都市と農村の交流促進、岩舟農村環境改善センターは農業者及び農村地域在住者の生活改善、健康増進等の促進及び地域活性化を目的として設置されている。両施設は指定管理者制度を導入し、民間の活力とノウハウを生かして、観光による農業・農村への理解促進と地域活性化、市民や観光客の交流促進に取り組み、施設の効果的な活用を図った。また、むらづくり施設の維持管理（補修等）を実施した。

### (1) 売上等実績

| 施設名                | 客数(人)   | 売上額(円)      | 備考    |
|--------------------|---------|-------------|-------|
| いわふねフルーツパークセンター    | 216,713 | 346,990,887 |       |
| 岩舟農村環境改善センター（こなら館） | 11,025  | 727,670     | 施設利用料 |
| 合 計                | 227,738 | 347,718,557 |       |

### (2) 維持管理（補修等）

| 施設名             | 補修等内容    | 金額(円)   |
|-----------------|----------|---------|
| いわふねフルーツパークセンター | 空調機器修繕工事 | 357,500 |